

京都大学防災研究所特定研究集会

キャンパスプラザ京都

2013.7.19.

リスク心理学の観点から

より良い地震ハザード評価の出し方・使われ方について

中谷内一也

同志社大学 心理学部

どのようなハザード評価の表現を良い表現とするかは、
目的次第で判断が異なる

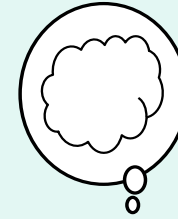
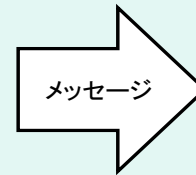
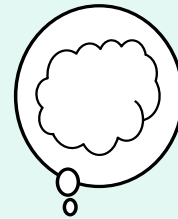
1.

2.

3.

どのようなハザード評価の表現を良い表現とするかは、
目的次第で判断が異なる

1. “正しい理解”を与える



2.

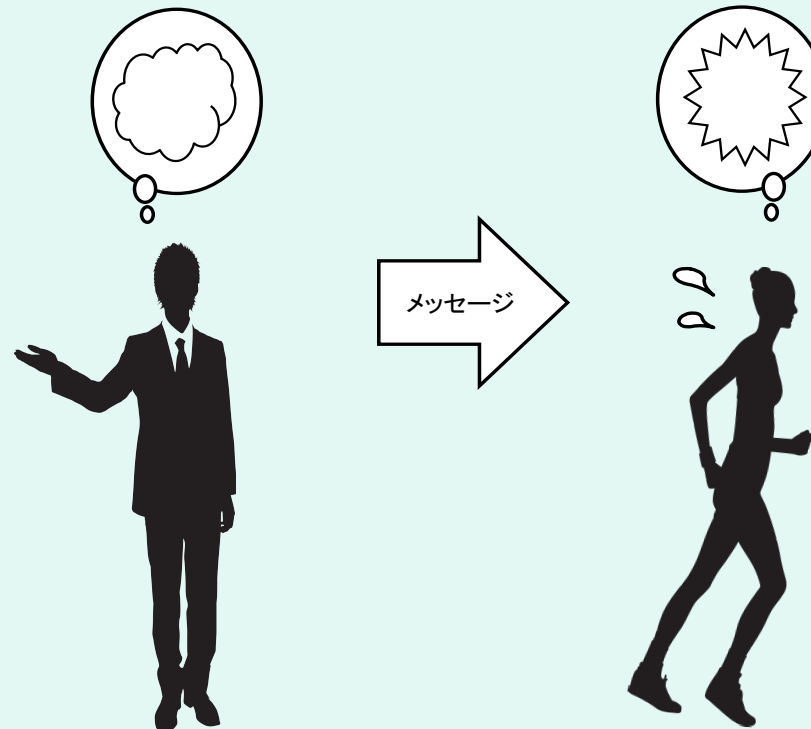
3.

どのようなハザード評価の表現を良い表現とするかは、
目的次第で判断が異なる

1. “正しい”理解を与える

2. “望ましい”行為に導く

3.

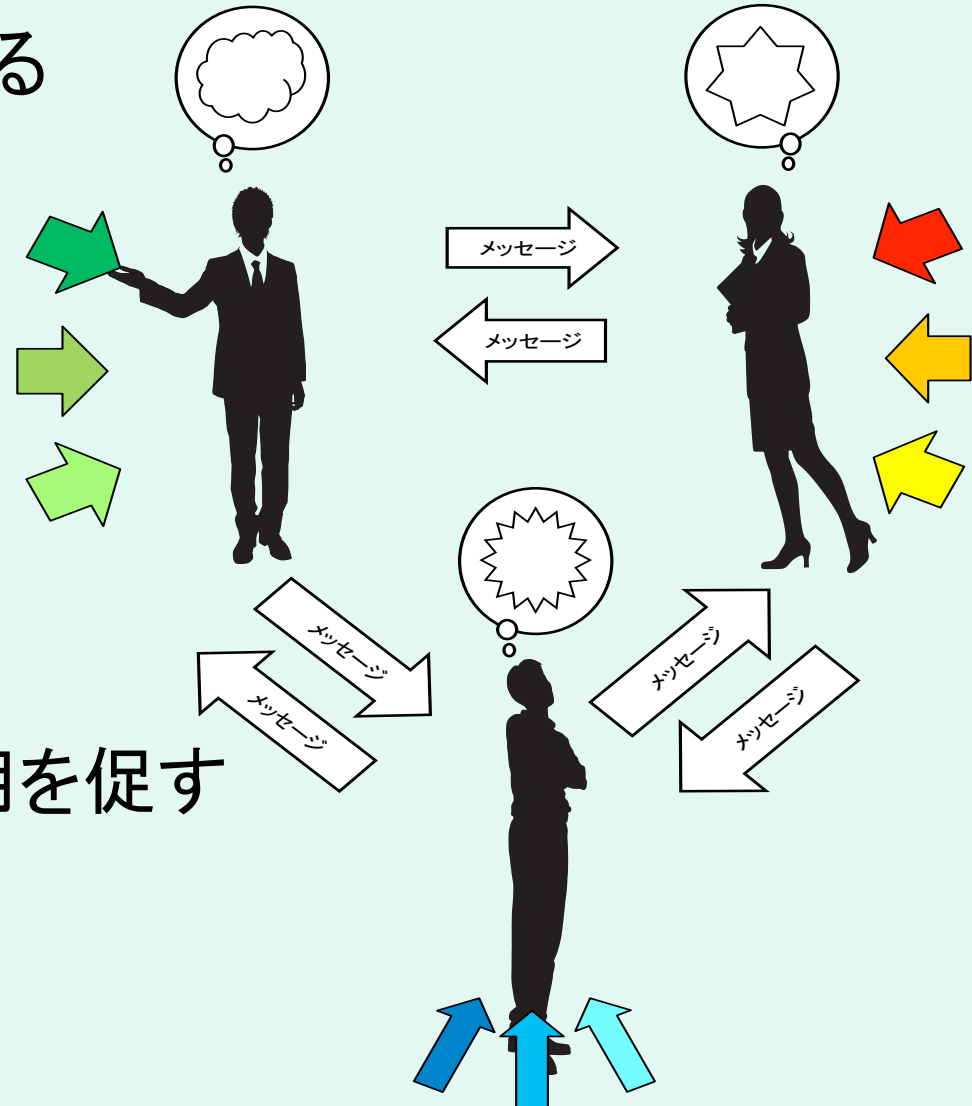


どのようなハザード評価の表現を良い表現とするかは、 目的次第で判断が異なる

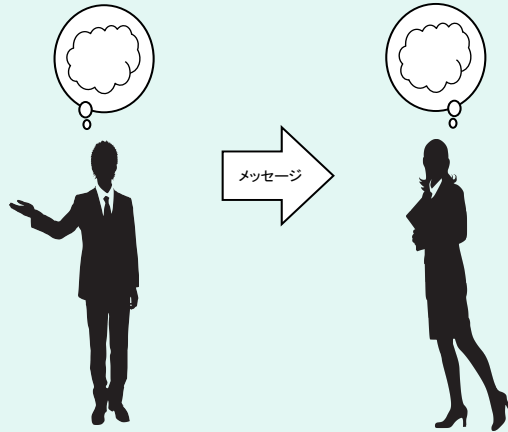
1. “正しい”理解を与える

2. “望ましい”行為に導く

3. 双方向的な相互作用を促す



1. 「正しい理解を与える」には？



一般市民がハザード評価、確率的な情報をどう処理するのかを理解し、表現を工夫する。

→行動的意思決定研究(Behavioral Decision Theory)分野には豊富な知見あり

1. 「正しい理解を与える」には？

ハザード評価の理解に関連しそうな知見

Bookbag-and-Pokerchip 実験 (Phillips & Edwards, 1966)

→人は保守的なベイジアンである

エルスバーグの壺 (Ellsberg, 1961)

→人は(確率よりも)あいまいさを忌避する

アレのパラドクス (Allais, 1953)

→確実性効果

ヒューリスティクス (Tversky & Kahneman, 1974)

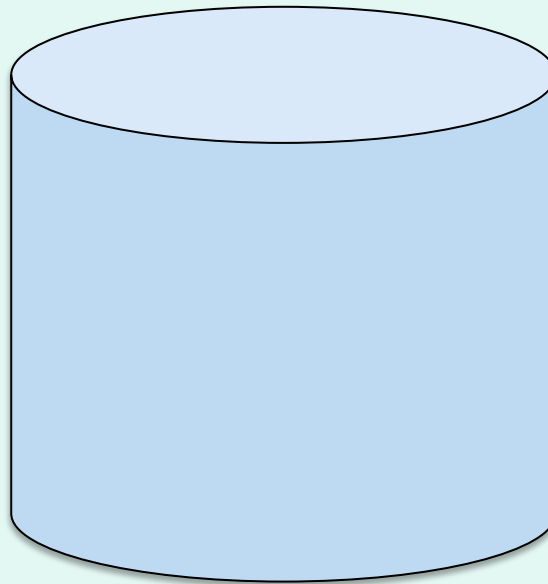
→そもそも別のルールで確率を判断する

1. 「正しい理解を与える」には？

エルスバーグ・パラドクス

全部で90個

赤玉30個、黄玉と黒玉あわせて60個

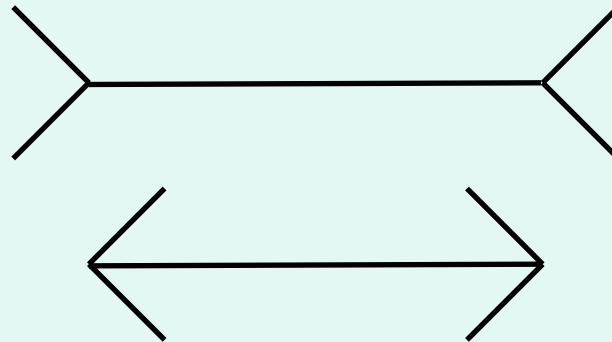


1. 「正しい理解を与える」には？

これらの判断傾向は非常に多岐にわたる

ハザード認知ならでは、感情の影響、を加えるともっとややこしい

これらの判断傾向は“分かっちゃいるけどやめられない”も多い



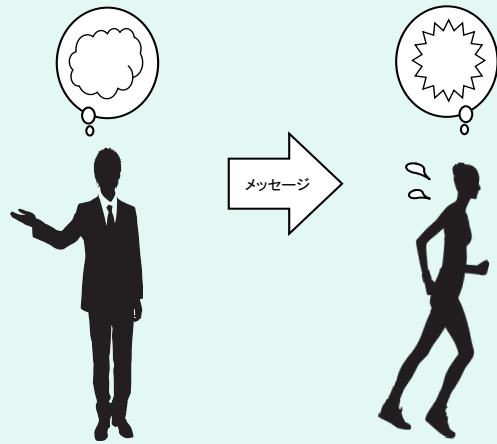
非合理的な“バイアス”ではない

1. 「正しい理解を与える」には？

→無理。しょせん背負えない

しかし、これは相手が無知であることを意味しないし、
ましてや、ハザード評価を伝えないことを正当化する
ものでもない

2. 「望ましい行為に導く」には？

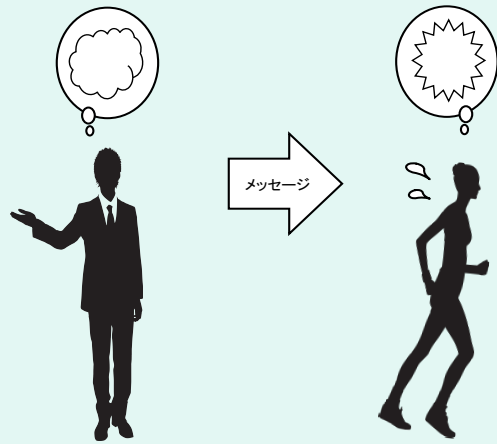


情報の意味は正確に伝わらなくても、望ましい行為を導くことができる表現がよい表現

リスクが高いことを表現→避難などの対処をする

リスクが低いことを表現 →ふだんの生活を送る

2. 「望ましい行為に導く」には？



情報の意味は正確に伝わらなくても、望ましい行為を導くことができる表現がよい表現

~~リスクが高いことを表現 → 避難などの対処をする~~

~~リスクが低いことを表現 → ふだんの生活を送る~~

2. 「望ましい行為に導く」には？

むしろ、ハザード評価（リスク評価）だけで人が動かないことは災害準備研究では常識

→The Risk Perception Paradox (Wachinger et al., 2013)

～個人的な災害経験と関係当局への信頼が肝心

→洪水対策について、リスク認知が行動を促すという見立ては理論的にも実証的にも根拠がない (Bubeck et al., 2012)

～有効な対処行動の示唆を伴うことが肝心

2.「望ましい行為に導く」には？

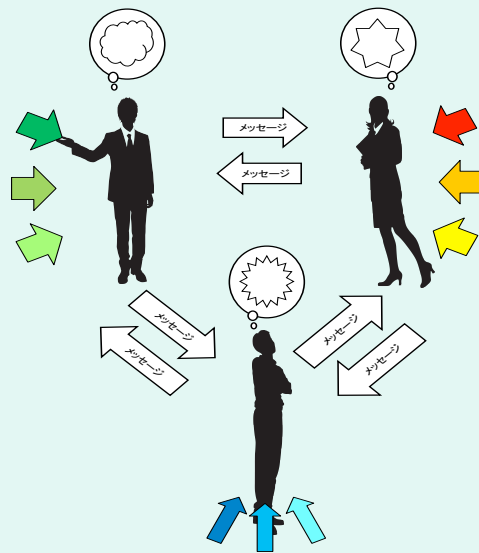
しかも、多くの場面で直面するのは；

リスクが高い、対処策は有効、コストは低い、と認知しても、それでも対処しない！という問題

いずれにせよ、ハザード評価は行動に直結しない

別の問題点：何が“望ましいのか”を決める時点で
価値が入り、科学的な評価を踏み越える

3. 「双方向的な相互作用を促す」には？



→リスクコミュニケーション

これは表現の問題というよりも、姿勢の問題

- ・伝えるだけでなく、傾聴の姿勢を持つ
- ・自分の認識が変化しうる

3.「双方向的な相互作用を促す」には？

リスクコミュニケーションを強調するとき；

“正しい理解を与える”、“行動を導く”ための言説
はしばしば否定される

しかし、個々のメッセージを「それはリスクコミュニケーションである」とか「ない」とか判定できるのか？

リスクコミュニケーションはリスクをめぐる社会的な
状況全体の中で判断されるべきこと

3.「双方向的な相互作用を促す」には？

これに関して重要なのは；

(ハザード評価表現のありようではなく)

社会的な決定過程がどうなっていてハザード評価の専門家がどのような立場に立っているのかを確認すること

ハザード評価の専門家が、不確実性の高い問題について、管理やコミュニケーションまで背負えるのか？